

## 平成29年度決算概要報告

### ◆法人全体

項 目	①	②	③	④	⑤	対前年度増減理由
	H29決算	H29 当初予算	予算差引 (①-②)	H28決算	前年度差引 (①-④)	
経常費用合計	72,188	72,706	▲518	70,028	2,159	
経常収益合計	72,612	72,551	60	69,001	3,611	
経常利益	424	▲154	578	▲1,027	1,451	
臨時損失	21	-	21	27	▲5	
臨時利益	323	-	323	363	▲40	
当期純利益	725	▲154	880	▲691	1,416	
目的積立金取崩額	328	154	173	413	▲85	
当期総利益	1,053	-	1,053	▲277	1,331	

経常収支比率※	100.6%	99.8%	0.8%	98.5%	2.1%	※経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用
---------	--------	-------	------	-------	------	-----------------------

※H29決算：退職手当見直し臨時利益除く。H28決算：臨時利益360百万円(センター病院分)を除く

当期総利益	732	-	732	▲637	1,369	
-------	-----	---	-----	------	-------	--

### ◆大学

項 目	①	②	③	④	⑤	対前年度増減理由
	H29決算	H29 当初予算	予算差引 (①-②)	H28決算	前年度差引 (①-④)	
教育経費	1,458	1,512	▲54	1,827	▲368	・八景キャンパス耐震整備事業の終了(▲314) ・スクールアグリーメント更新費の減(▲44)
研究経費	3,637	3,409	227	3,289	348	・受託研究費獲得額増に伴う支出増(+209) ・奨学寄附金の支出増(+29) ・横浜ライフイノベーションプラットフォーム事業(LIP. 横浜)(+31)
人件費合計	7,643	7,636	7	7,394	248	
役員人件費	42	46	▲3	43	-	
教員人件費	5,362	5,365	▲2	5,190	171	教員人件費
セグメント人件費 振替額	51	13	37	39	11	・人員増減等(+89)、市在籍期間分退職手当(+72)
職員人件費	1,820	1,851	▲30	1,757	63	・人員増減等(+32)、定期昇給(+19)
退職給付引当金繰入	366	359	7	363	3	
一般管理費等	826	797	28	790	35	・データサイエンス学部開設等に伴う広告宣伝費の増(+15) ・文書管理システム導入費の増(+14)
減価償却費	886	803	82	891	▲5	
経常費用合計	14,451	14,159	292	14,193	258	
運営費交付金収益	7,259	7,260	▲1	6,979	279	・学費対象経費等交付額の増(+140) ・市在籍期間退職手当(+92)
授業料収益等	3,071	2,942	129	3,034	36	・授業料+30(26.5億→26.8億) ・検定料+7(85→92) ・志願者増+309人(3,803→4,112人)
外部資金合計	3,166	2,788	377	3,133	33	※収益≠獲得額 ※収益=費用
受託	2,019	1,701	317	1,751	268	獲得額+232(1,731→1,963) ※うち間接経費+75(284→359)
奨学寄附金	581	559	22	562	19	獲得額▲13(597→584) ※うち間接経費▲7(54→47)
補助金	565	527	38	819	▲254	八景キャンパス耐震整備横浜市負担金の減(▲278)
資産見返負債戻入	652	618	34	670	▲18	
雑益等	541	478	62	583	▲42	科学研究費補助金間接経費▲19(234→215)
経常収益合計	14,690	14,087	602	14,401	288	
経常利益	238	▲71	310	207	30	
臨時損失	19	-	19	3	16	旧理科館解体に伴う固定資産除却損の増
臨時利益	126	-	126	3	123	退職一時金制度変更に伴う退職給付引当金の戻入(125)
当期純利益	345	▲71	417	207	137	
目的積立金取崩額	117	71	46	179	▲61	・スクールアグリーメント更新費の減(▲44) ・理学系研究棟整備費負担金の減(▲39) ・運営交付金(退職手当横浜市負担分)不足額への充当(+27)
当期総利益	463	-	463	387	76	

人件費比率※1	52.0%	54.2%	▲2.2%	51.3%	0.7%	
経常収支比率※2	101.6%	99.5%	2.2%	101.5%	0.2%	

※1 大学人件費比率 = 人件費 / 経常収益

※2 経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用

◆附属病院

(単位:百万円)

項 目	① H29決算	② H29 当初予算	③ 予算差引 (①-②)	④ H28決算	⑤ 前年度差引 (①-④)	対前年度増減理由
診療経費	13,142	13,322	▲180	12,711	431	
うち医薬品費	5,578	5,627	▲49	5,340	237	・新入院患者数増による増 ・外来化学療法件数増(+848件)による増
うち診療材料費 ※1	3,288	3,232	55	3,093	194	・手術件数増による増
うち光熱水費	503	532	▲28	475	27	・原油価格上昇による増
教育・研究・受託研究・一般管理費等	447	559	▲112	454	▲7	
人件費	12,203	12,244	▲41	11,787	416	
教員人件費	1,578	1,582	▲4	1,501	76	・人員増による増(+62) ・定期昇給による増(+15)
セグメント人件費 振替額	316	352	▲35	342	▲26	
職員人件費	9,945	10,012	▲67	9,646	298	・定期昇給による増(+112) ・人員増による増(+112) ・給与改定による増(+54)
退職給付引当金 繰入	363	298	65	295	67	・予定退職率低下による増
減価償却費	1,538	1,657	▲119	1,518	19	
経常費用合計	27,331	27,784	▲453	26,472	859	
運営費交付金収益	2,645	2,594	51	2,367	278	
運営交付金交付額	3,012	3,034	▲21	3,096	▲83	
資産取得分等 (施設設備等)	▲366	▲440	73	▲729	362	・施設整備費予算の減(▲351)及び入札残による増
附属病院収益	23,524	23,947	▲423	22,336	1,187	
うち入院収益	15,530	15,872	▲342	14,658	871	・新入院患者数増による増 ・手術件数増による増
うち外来収益	7,824	7,853	▲29	7,469	355	・外来化学療法件数増による増 ・画像診断件数増(+795件)による増
資産見返負債戻入	463	513	▲49	434	29	
補助金等収益	201	201	-	199	2	
雑益等	538	497	40	445	92	・夜間看護手当等過払分(過年度分)の戻入(+55) ・受託研究収益の増(+20) ・PET製剤製造委託の増(+7)
経常収益合計	27,374	27,755	▲380	25,782	1,591	
経常利益	42	▲29	72	▲689	732	
臨時損失	1	-	1	21	▲20	・償却中資産の除却損の減(▲20)
臨時利益	87	-	87	-	87	・退職一時金制度変更に伴う退職給付引当金の戻入(+87)
当期純利益	128	▲29	157	▲711	839	
目的積立金取崩額	66	29	37	151	▲84	・臨床研究ネットワーク事業費(▲77) ・ダヴィンチ保守相当額(▲23) ・数理計算上の差異(+26)
当期総利益	195	-	195	▲560	755	

入院単価	75,235円	75,045円	190円	71,099円	4,136円
入院患者数(のべ数)	204,581人	210,240人	▲5,659人	204,874人	▲293人
新入院患者数	15,061人	15,560人	▲499人	13,975人	1,086人
病床利用率	85.7%	88.0%	▲2.3%	85.8%	▲0.1%
平均在院日数	13.6日	13.5日	0.1日	14.7日	▲1.1日
外来単価	16,650円	17,442円	▲792円	16,300円	350円
外来患者数/1日	1,916人	1,835人	81人	1,874人	42人
手術件数	6,239件	6,885件	▲646件	5,927件	312件
医薬材料費比率※2	37.7%	37.0%	0.7%	37.8%	▲0.1%
人件費比率※3	51.9%	51.1%	0.7%	52.8%	▲0.9%
経常収支比率※4	100.2%	99.9%	0.3%	97.4%	2.8%

※※単価、患者数等は小数点以下を表示していないため、見た目の計算結果が合わないことがあります。

※1 診療材料費は、医療消耗品器具備品費を含めています。

※2 医薬材料費比率 = (前年度繰入額 + 当期医薬材料購入額 - 翌月(年)繰越額) / 附属病院収益 ※翌月(年)繰越額は前月(年)繰入額と同額と仮定して計算しています。

※3 病院人件費比率 = 人件費 / 附属病院収益

※4 経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用

第3期中期計画目標値

- ・平均在院日数 14日未満
- ・医薬材料費比率: 38%未満
- ・人件費比率: 50%未満

項 目	①	②	③	④	⑤	対前年度増減理由
	H29決算	H29当初予算	予算差引 (①-②)	H28決算	前年度差引 (①-④)	
診療経費	15,576	15,558	17	14,691	884	
うち医薬品費	6,366	6,461	▲95	6,047	318	・外来化学療法件数増(+466件)による増(+223) ・高額薬剤の使用による増(+120)
うち診療材料費 ※1	4,413	4,260	152	4,107	305	・TAVIの実施件数増(+27件)による増(+141) ・放射性医薬品の使用量増による増(+47)
うち光熱水費	613	624	▲10	557	56	・原油価格上昇による増
教育・研究・受託研究・一般管理費等	488	536	▲47	435	52	
人件費	13,426	13,774	▲348	13,053	372	
教員人件費	2,349	2,526	▲176	2,422	▲72	・超過勤務手当による減(▲101) ・人員増に伴う増(+29)(+3人) ・定期昇給に伴う増(+18)
セグメント人件費 振替額	▲367	▲366	▲1	▲382	14	
職員人件費	10,984	11,216	▲231	10,622	362	・超過勤務手当による増(+27) ・人員増に伴う増(+155)(+31.5人) ・定期昇給に伴う増(+136)
退職給付引当金 繰入	459	397	62	390	68	・予定退職率低下による増
減価償却費	914	893	21	1,181	▲267	・病院情報システム等(▲322)償却終了による減
経常費用合計	30,405	30,762	▲357	29,362	1,042	
運営費交付金収益	1,520	1,455	64	1,366	154	
運営交付金交付額	2,115	2,115	-	2,372	▲256	
資産取得分等 (施設設備等)	▲595	▲660	64	▲1,006	410	・施設整備経費予算の減(▲514)及び入札残による増
附属病院収益	28,220	28,488	▲268	26,680	1,540	
うち入院収益	18,641	19,157	▲516	17,616	1,024	・新入院患者数増による増 ・加算、施設基準の取得による増
うち外来収益	9,262	8,963	298	8,732	530	・外来化学療法件数増による増
資産見返負債戻入	267	263	3	272	▲5	
補助金収益等	69	66	2	70	-	
雑益等	469	434	35	427	42	・受託研究費収益の増(+33) ・損害賠償請求和解による増(+6)
経常収益合計	30,548	30,709	▲161	28,817	1,730	
経常利益	143	▲53	196	▲545	688	
臨時損失	-	-	-	2	▲2	
臨時利益	108	-	108	360	▲251	・退職一時金制度変更に伴う退職給付引当金の戻入(+108)
当期純利益	251	▲53	304	▲187	438	
目的積立金取崩額	143	53	90	83	60	・数理計算上の差異(+91) ・運営交付金(退職手当横浜市負担分)不足額への充当(+51)
当期総利益	395	-	395	▲104	499	

※H28決算 臨時利益360百万円を除いた場合

当期総利益 h (=f+g)	395	-	395	▲464	859
----------------	-----	---	-----	------	-----

入院単価	77,979円	80,000円	▲2,021円	74,724円	3,255円
入院患者数(のべ数)	238,599人	238,491人	108人	234,441人	4,158人
新入院患者数	19,273人	19,079人	194人	18,291人	982人
病床利用率	90.0%	90.0%	0.0%	88.5%	1.6%
平均在院日数	12.4日	12.5日	▲0.1日	12.8日	▲0.4日
外来単価	19,222円	19,274円	▲52円	18,354円	868円
外来患者数/1日	1,954人	1,900人	54人	1,949人	4人
手術件数	8,568件	8,150件	418件	7,877件	691件
医薬材料費比率※2	38.2%	37.6%	0.6%	38.1%	0.1%
人件費比率※3	47.6%	48.3%	▲0.8%	48.9%	▲1.3%
経常収支比率※4	100.5%	99.8%	0.6%	98.1%	2.3%

※※単価、患者数等は小数点以下を表示していないため、見た目の計算結果が合わないことがあります。

※1 診療材料費は、医療消耗品器具備品費を含めています。

※2 医薬材料費比率 = (前年度繰入額 + 当期医薬材料購入額 - 翌月(年)繰越額) / 附属病院収益 ※翌月(年)繰越額は前月(年)繰入額と同額と仮定して計算しています。

※3 病院人件費比率 = 人件費 / 附属病院収益

※4 経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用

第3期中期計画目標値

- ・平均在院日数 12日未満
- ・医薬材料費比率: 38%未満
- ・人件費比率: 50%未満